

研修責任者等研修事業 都道府県名 ( 栃木県 )

(実地指導者研修)

I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 ( 3 )箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと

県内の3カ所で開催し、身近なモデルとなる病院から講師を選出することで、地域の実地指導者同士の交流促進や地域のネットワーク構築に役立つように配慮した。

3. 研修開催回数 延べ( 5 )回

II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回(合同)	( 89 )名	( 84 )名
第2回(合同)	( 89 )名	( 81 )名
第3回	県央	( 43 )名
	県南	( 29 )名
	県北	( 17 )名

※ 必要な場合、行を追加してご記入ください

2. 研修受講者の所属施設

施設種別	応募者数	受講者数
病院	( 89 )名	( 89 )名
診療所	( )名	( )名
助産所	( )名	( )名
介護老人保健施設	( )名	( )名
指定訪問看護事業所	( )名	( )名
その他 ( )	( )名	( )名

3. 研修受講者のうち、病院の場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 7 )名
100～200未満	( 35 )名
200～400未満	( 26 )名
400床以上	( 21 )名

4. 研修受講者の職位

職位	人数
看護部長	( 0 )名
看護副部長	( 0 )名
師長	( 2 )名
係長・主任	( 14 )名
スタッフ	( 70 )名
その他	( 3 )名

※ 職位が貴県での区分と異なる場合には、貴県での区分に変更したうえで、ご記入ください

5. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

施設類型や職位の基準は設けていないが、臨床の職場内教育(OJT)の中で、新人看護職員の直接指導、評価を担当する者、又は今後なる予定の者とした。

6. 事業の周知及び参加者募集方法(ご自由にご記入ください)

各病院あて郵送にて実施。なお、病院において、研修責任者、教育担当者、実地指導者それぞれの役割を明確化して担当者を配置して欲しいため、3つの研修を併せて周知した。栃木県看護協会のホームページに掲載して周知した。

### Ⅲ. 研修内容に関すること

#### 1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式  
 B 講義毎に部分的に受講する形式

#### 2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
H23.10	新人看護職員 臨床研修体制 について	6	～部署における新人看護職員を教育する体制づくり～ ○講義 ・新人看護職員研修ガイドラインの考え方 ・実地指導者、教育担当者の役割 ・部署全体で新人看護職員を育成する重要性 ・新人看護職員を育てる組織風土づくり ・教育、学習に関する基礎知識
H23.11	新人看護職員 へのメンタル サポートと実 地指導者のス トレスマネジ メント	6	～指導者として必要なコミュニケーションの方法を理解する～ ○講義・演習 ・指導者として求められる姿勢や態度 ・新人看護職員への効果的なコミュニケーション ・精神的支援とフィードバックについて ・自己のストレスマネジメント
H23.12	安全な看護技 術の指導方法	3	～新人看護職員の臨床技術に合った指導を考える～ ○講義・演習 ・看護技術指導における目標設定と評価 ・医療安全に基づいた看護実践に指導方法
	実地指導者と しての実践の リフレクション	3	～実地指導者としての自己を振り返り、今後の指導につなげる～ ○演習 ・受講者同士の意見交換 ・実地指導者として自己が経験した指導からリフレクションする

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

#### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 2 )名  
 ②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( 3 )名  
 施設の教育担当者(教育責任者等) ( 2 )名  
 専門看護師・認定看護師 ( )名  
 その他 ( 2 )名

その他の職種： 職種等( 臨床心理士 ) ( 1 )名  
職種等( ) ( )名  
職種等( ) ( )名

4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 3 )日 ( 15 )時間

5. 4. の内訳 講義 ( 7 )時間 演習 ( 8 )時間  
その他 ( ) ( )時間 オリエンテーション ( )時間

#### IV. 事業の評価等に関すること

1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

研修の企画・運営・評価のため、研修検討委員会を立ち上げた。検討委員には、大学病院から地域の中核及び小規模病院など、多様な規模の病院の教育担当者、及び学識経験者等から構成し、県内の各病院等における実地指導者の実情に合わせた研修内容を企画した。また、地域におけるネットワーク構築を図るため、各地区での開催内容を受講者同士の交流を図るものとし、より各自の病院での組織体制を構築しやすいように、講師も身近な地域のモデルとなりえる病院等から選定した。

2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

事業の評価を行うため、アンケートを実施した。研修責任者や教育担当者研修のアンケート結果と併せて、県内の病院における新人看護職員研修における課題等を抽出し、実態に則した研修内容とするため、研修検討会において評価・企画等を実施する予定である。

なお、この研修は今年度からの実施であるが、研修責任者や教育担当者研修すべての応募者の状況を見ると、その職位や年齢等から、ガイドラインで示されているような研修責任者や教育担当者として位置づけられている担当者かどうか疑問を感じる病院もあり、ガイドラインの浸透が不十分である現状が伺えた。今後の研修の目的を、先進的な取組の推進、または、多くの病院へのガイドラインの周知徹底とするかによって、研修内容や対象が変わってくるため、研修の方向性を明らかにしていくことが課題である。

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託    A 委託していない     B 委託している    委託先( (社)栃木県看護協会 )